

**「長沼町立小・中学校適正規模・適正  
配置基本方針」の進捗状況について**

**（平成26年8月29日 長沼町教育委員会報告）**

## 長沼町立小・中学校適正規模・適正配置の経過

平成18年 8月 7日	長沼町行政改革審議会最終答申
	・長沼町の教育のあるべき姿（教育の柱）を策定し、それに基づき改革すべきとの答申
平成20年11月20日	長沼町がめざす学校教育の姿検討委員会設置
	・町立小中学校における学校教育の振興に関する基本的な方針及び講ずべき施策、その他必要な方策について調査、検討
平成22年 3月30日	長沼町がめざす学校教育の姿検討委員会 報告書提出
平成22年10月15日	学校規模適正化検討委員会設置
平成23年12月21日	町立学校の適正配置・適正規模・通学区域について 答申書受理
平成24年 2月16日	教育委員会議(長沼町立学校の適正配置・適正規模・通学区域の協議)
平成24年 3月 5日	教育委員会議(小中学校の適正配置・適正規模に関する協議)
平成24年 3月22日	教育委員会議(学校統合に関する基本方針素案について審議)
平成24年 3月30日	教育委員会議(学校統合に関する基本方針素案について審議)
平成24年 4月27日	教育委員会議(小・中学校適正規模・適正配置基本方針素案について協議)
平成24年 5月31日	教育委員会議(小・中学校適正規模・適正配置基本方針素案について協議)
平成24年 6月13日	町議会学校統合調査特別委員会（「長沼町立学校の適正配置・適正規模・通学区域について（答申）」について説明）
平成24年 6月25日	教育委員会議(小・中学校適正規模・適正配置基本方針素案について協議)
平成24年 8月 7日	長沼町立小・中学校適正規模・適正配置基本方針策定
	・中学校～平成26年4月統合 小学校～平成28年4月統合
平成24年 9月21日	町議会学校統合調査特別委員会（長沼町がめざす学校教育の姿検討委員会及び長沼町学校規模適正化検討委員会について説明）
平成24年10月12日～	統合に係る地域説明会
	・町内5地域を対象に開催（北～10/12、西～10/15、舞鶴～10/16、南～10/17、中央～10/18）
平成24年11月 5日	教育委員会議(小・中学校統合に係る地域説明会の結果及び今後の対応について)
平成24年11月19日	教育委員会議(中学校統合に係る保護者説明会の開催について)
平成24年11月28日～	中学校統合に係る保護者説明会（第1回）
	・町内3中学校区を対象に開催（北～11/28、中央～12/3、南～12/4）
平成24年12月13日	町議会学校統合調査特別委員会
平成24年12月20日	教育委員会議(中学校統合に係るスケジュールについて)
平成25年 1月22日	町議会学校統合調査特別委員会
平成25年 1月30日～	中学校統合に係る保護者説明会（第2回）
	・町内3中学校区を対象に開催（中央～1/30、北～1/31、南～2/1）
平成25年 2月 6日	教育委員会議(長沼町立学校の統合に関する条例の制定依頼について)
平成25年 2月13日	議会臨時会(長沼町立学校の統合に関する条例案提案)
平成25年 2月25日	町議会学校統合調査特別委員会
平成25年 2月26日	教育委員会議(統合準備委員会について)
平成25年 3月 8日	町議会学校統合調査特別委員会（町教委と議会の合同勉強会）
平成25年 3月22日	長沼町立学校の統合に関する条例制定（可決・施行）
平成25年 4月16日	教育委員会議(長沼町中学校統合準備委員会設置要綱の制定について)
平成25年 4月17日～	中学校統合準備委員会設置
	・全体会～5回開催
	・部 会～20回開催
	第1部会（学校運営・教育計画等）～6回
	第2部会（生徒指導・生徒会活動・部活動等）～6回

- 第3部会（施設・設備・備品等）～3回
- 第4部会（PTA組織等）～3回
- 第5部会（スクールバス運営・組織等）～2回

- 平成25年 5月23日 **教育委員会議**  
 （長沼町立学校の統合に関する条例の一部を改正する条例制定依頼について）  
 （長沼町中学校統合準備委員会について）
- 平成25年 6月10日 **教育委員会議**  
 （議会統合特別委員会について）  
 （統合に係る交流事業について）
- 平成25年 6月13日 **学校統合調査特別委員会**
- 平成25年 6月19日～ **スクールバス運行に係る意見交換会（第1回）**  
 ・町内3中学校区及び西長沼地区を対象に開催（北～6/19、南6/20、西～6/21、中央～6/24）
- 平成25年 6月25日 **教育委員会議(学校統合について)**
- 平成25年 6月18日～ **長沼町PTA連合会臨時役員会議（6/18）**  
 ・単P役員会開催時説明（西小～6/27、舞小～7/1、中小～7/1、南小～7/10、北小～7/11）  
 ・単P全体会開催時説明（舞小～7/3、西小～7/10）
- 平成25年 7月24日 **中学校交流事業**  
 ・レクリエーション
- 平成25年 8月26日～ **スクールバス運行に係る意見交換会（第2回）**  
 ・町内3中学校区及び西長沼地区を対象に開催（南～8/26、北8/27、中央～8/28、西～8/29）
- 平成25年 8月29日 **教育委員会議(スクールバスの運行に係る意見交換会について)**
- 平成25年 9月 3日 **長沼町PTA連合会第2回臨時役員会**
- 平成25年 9月18日～ **小学校統合に係る保護者説明会**  
 ・町内小学校区を対象に開催（西小～9/18、舞小～9/27、南小9/30、中小～10/3、北小～10/4）
- 平成25年 9月19日 **中学校交流事業**  
 ・仮学級による授業の実施
- 平成25年11月 6日 **教育委員道外研修(11/6～11/8 福島県須賀川市、東京都三鷹市)**
- 平成25年11月11日 **教育委員会議(学校統合準備委員会の経過報告について)**
- 平成25年11月16日～ **中学校閉校式**  
 ・中央長沼中学校（11/16）・南長沼中学校（11/30）・北長沼中学校（12/7）
- 平成25年12月10日 **教育委員会議(一般質問の学校統合後の跡地利用と商工業に及ぼす影響について)**
- 平成25年12月12日 **町議会学校統合調査特別委員会**
- 平成26年 1月10日 **教育委員勉強会**
- 平成26年 1月23日 **長沼中学校スクールバス運営協議会設置**
- 平成26年 1月30日～ **中学校在校生・保護者説明会(中央～1/30、南～2/5、北～2/10)**
- 平成26年 2月 3日 **長沼中学校新入生入学説明会**
- 平成26年 2月12日 **町議会全員協議会**
- 平成26年 2月19日 **教育委員会議(小学校統合に関するアンケートの実施について)**  
**教育委員勉強会**
- 平成26年 2月24日 **小学校統合に係る保護者アンケートの実施**
- 平成26年 3月 6日 **教育委員会議(小学校統合に関するアンケート調査の回収について)**
- 平成26年 3月18日 **教育委員勉強会**
- 平成26年 3月19日 **町議会学校統合調査特別委員会**
- 平成26年 4月 7日 **長沼中学校入学式**
- 平成26年 5月 1日 **小学校統合に係る保護者アンケートの概要公表**

平成26年 5月 2日 長沼中学校開校式  
平成26年 5月29日 教育委員会議(長沼町立小・中学校適正規模・適正配置の進捗状況について)  
教育委員勉強会  
平成26年 6月10日 教育委員会議(長沼町立小・中学校適正規模・適正配置の進捗状況について)  
教育委員勉強会  
平成26年 6月12日 町議会学校統合調査特別委員会  
(長沼町立小・中学校適正規模・適正配置の進捗状況について中間報告)  
平成26年 7月17日 教育委員会議(長沼町立小・中学校適正規模・適正配置の進捗状況について)  
平成26年 8月 8日 教育委員勉強会  
平成26年 8月28日 教育委員勉強会  
平成26年 8月29日 教育委員会議  
・長沼町立小・中学校適正規模・適正配置の進捗状況について(報告済)  
・長沼町立小学校適正規模・適正配置実施方針について(決定)  
平成26年 8月29日 決定事項について町長報告  
平成26年 9月12日 町議会学校統合調査特別委員会

## ◆長沼町小学校統合に関するアンケート報告書◆

### 1 調査の目的

町内小学校の統合に向け、児童や保護者の不安解消や通学の確保等の条件整備を進めるため、保護者の意見等を把握することを目的とする。

### 2 調査対象

- ① 小学校の児童の保護者 397 世帯
- ② 小学校就学前のお子さんだけの保護者 244 世帯

### 3 調査の実施期間等

- ① 調査期間 平成26年2月25日（火）～平成26年3月12日（水）
- ② 調査票の配布及び回収方法
  - ア 小学校の児童の保護者 各小学校を經由して配布し学校、返信用封筒等により回収
  - イ 小学校就学前の児童だけをお持ちの保護者 郵送で配布し返信用封筒等により回収

### 4 調査項目

- ① 調査世帯の属性
- ② 長沼町立小中学校適正規模適正配置基本方針
- ③ 複式学級解消
- ④ 基本方針の推進
- ⑤ 統合に対する不安面

### 5 調査結果

～全体の回収率は61.8%で、回答者のうち、小学校就学児童世帯が68%、就学前児童世帯が30%でした。また、地区別回収率では北小（72.2%）が多く、続いて南小（68.9%）、舞小（68.2%）、西小（62.1%）、中小（58.9%）という結果となりました。

#### ① ～1 回収率

全体	調査世帯数	回収数	回収率
小学生児童の保護者	397	271	68.3%
就学前児童の保護者	244	119	48.8%
未記入の保護者	0	6	—
合計	641	396	61.8%

中小	調査世帯数	回答世帯数	回収率
小学生児童の保護者	295	186	63.1%
就学前児童の保護者	180	88	48.9%
未記入の保護者	0	6	—
合計	475	280	58.9%

北小	調査世帯数	回答世帯数	回収率
小学生児童の保護者	36	32	88.9%
就学前児童の保護者	18	7	38.9%
未記入の保護者	0	0	—
合計	54	39	72.2%

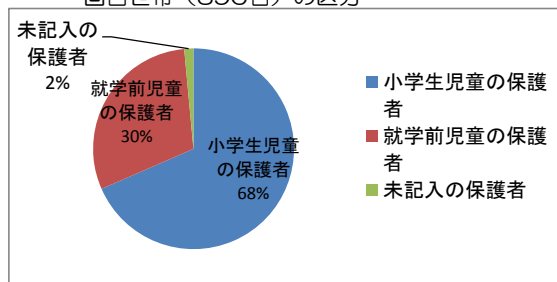
南小	調査世帯数	回答世帯数	回収率
小学生児童の保護者	38	33	86.8%
就学前児童の保護者	23	9	39.1%
未記入の保護者	0	0	—
合計	61	42	68.9%

西小	調査世帯数	回答世帯数	回収率
小学生児童の保護者	17	10	58.8%
就学前児童の保護者	12	8	66.7%
未記入の保護者	0	0	—
合計	29	18	62.1%

舞小	調査世帯数	回答世帯数	回収率
小学生児童の保護者	11	10	90.9%
就学前児童の保護者	11	5	45.5%
未記入の保護者	0	0	—
合計	22	15	68.2%

未記入	調査世帯数	回答世帯数	回収率
小学生児童の保護者	0	0	—
就学前児童の保護者	0	2	—
未記入の保護者	0	0	—
合計	0	2	—

回答世帯（396名）の区分



#### ◎ 留意事項

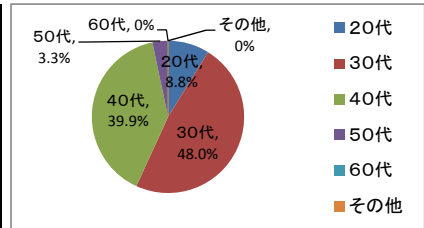
- ① 選択肢で表現が長い場合は短縮形で表している場合があります。
- ② 掲載図表については選択肢順で記載しております。
- ③ 回答率について、複数回答の場合は100%になりません。
- ④ 「N」はnumber（英語）あるいはnumero（ラテン語）のことで標本数（全回答者数）を表します。

① ～2 回答者の年代層（単数回答）

N=396

～ 全体では30代の回答者が48.0%で最も多く続いて40代（39.9%）、20代（8.8%）、50代（3.3%）という結果で、30歳代、40歳代で全体の87.9%という結果となりました。

	20代	30代	40代	50代	60代	その他
中小	9.3%	48.9%	38.9%	2.9%	0%	0%
北小	10.2%	43.6%	43.6%	2.6%	0%	0%
南小	4.8%	45.2%	47.6%	2.4%	0%	0%
西小	11.1%	50.0%	27.8%	11.1%	0%	0%
舞小	6.7%	40.0%	46.6%	6.7%	0%	0%
未記入	0%	100.0%	0%	0%	0%	0%
合計	8.8%	48.0%	39.9%	3.3%	0%	0%

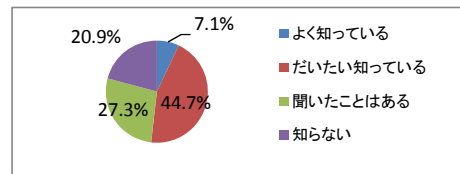


② 「長沼町立小中学校適正規模適正配置基本方針」の内容について（単数回答）

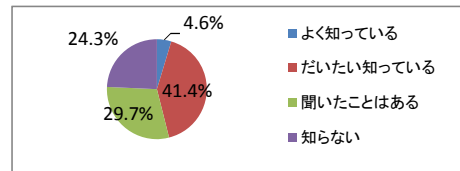
N=396

～ 全体では「だいたい知っている」と答えた回答者が44.7%で最も多く、続いて「聞いたことはある」（27.3%）、「知らない」（20.9%）、「よく知っている」（7.1%）という結果となりました。基本方針については中小以外の保護者の60%以上は基本方針について「良く知っている」、「だいたい知っている」という結果となりました。

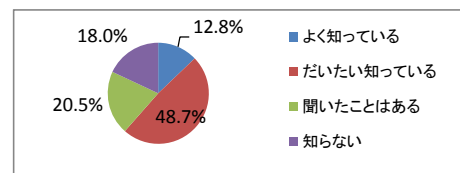
全体	よく知っている	だいたい知っている	聞いたことはある	知らない
児童の保護者	9.6%	48.0%	25.8%	16.6%
就学前児童の保護者	1.7%	37.0%	31.9%	29.4%
未記入の保護者	0%	50.0%	0%	50.0%
合計	7.1%	44.7%	27.3%	20.9%



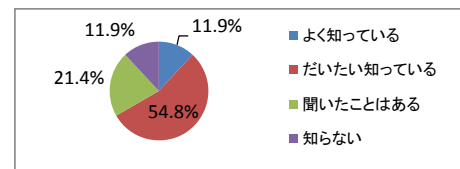
中小	よく知っている	だいたい知っている	聞いたことはある	知らない
児童の保護者	5.9%	44.1%	30.1%	19.9%
就学前児童の保護者	2.3%	35.2%	30.7%	31.8%
未記入の保護者	0%	50.0%	0%	50.0%
合計	4.6%	41.4%	29.7%	24.3%



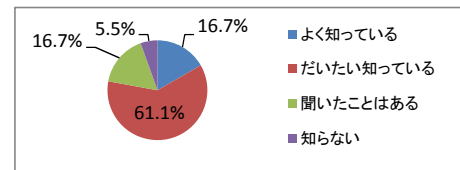
北小	よく知っている	だいたい知っている	聞いたことはある	知らない
児童の保護者	15.6%	53.2%	15.6%	15.6%
就学前児童の保護者	0%	28.6%	42.8%	28.6%
未記入の保護者	—	—	—	—
合計	12.8%	48.7%	20.5%	18.0%



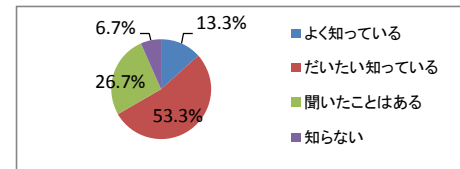
南小	よく知っている	だいたい知っている	聞いたことはある	知らない
児童の保護者	15.1%	57.6%	18.2%	9.1%
就学前児童の保護者	0%	44.5%	33.3%	22.2%
未記入の保護者	—	—	—	—
合計	11.9%	54.8%	21.4%	11.9%



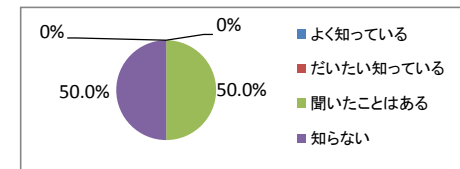
西小	よく知っている	だいたい知っている	聞いたことはある	知らない
児童の保護者	30.0%	70.0%	0%	0%
就学前児童の保護者	0%	50.0%	37.5%	12.5%
未記入の保護者	—	—	—	—
合計	16.7%	61.1%	16.7%	5.5%



舞小	よく知っている	だいたい知っている	聞いたことはある	知らない
児童の保護者	20.0%	50.0%	30.0%	0%
就学前児童の保護者	0%	60.0%	20.0%	20.0%
未記入の保護者	—	—	—	—
合計	13.3%	53.3%	26.7%	6.7%



未記入	よく知っている	だいたい知っている	聞いたことはある	知らない
児童の保護者	—	—	—	—
就学前児童の保護者	0%	0%	50.0%	50.0%
未記入の保護者	—	—	—	—
合計	0%	0%	50.0%	50.0%

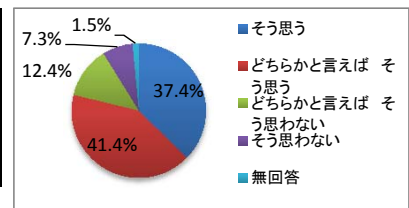


③ 教育委員会の基本方針の「1学年を複数学級にすべきであり、特に複式学級については早急に解消すべき」について（単数回答）

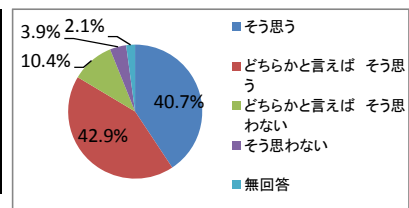
N=396

～ 全体では「どちらかと言えばそう思う」と答えた回答者が41.4%で最も多く、続いて「そう思う」（37.4%）、「どちらかと言えばそう思わない」（12.4%）、「そう思わない」（7.3%）、無回答（1.5%）という結果となりました。なお、複式学級解消について「そう思わない」に「どちらかと言えばそう思わない」と回答している保護者を合わせると北小（41.0%）、西小（33.4%）、舞小（40.0%）という結果となりました。

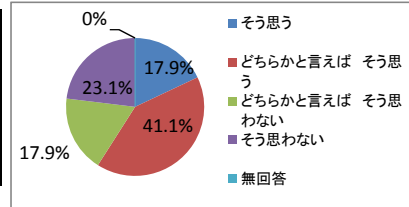
全体	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
児童の保護者	34.3%	43.2%	11.8%	9.2%	1.5%
就学前児童の保護者	45.4%	37.0%	12.6%	3.3%	1.7%
未記入の保護者	16.7%	50.0%	33.3%	0%	0%
合計	37.4%	41.4%	12.4%	7.3%	1.5%



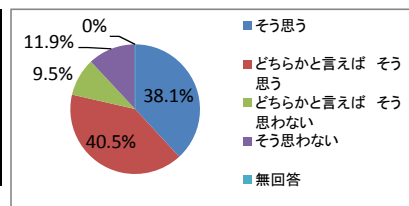
中小	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
児童の保護者	39.2%	44.1%	9.7%	4.8%	2.2%
就学前児童の保護者	45.4%	39.8%	10.2%	2.3%	2.3%
未記入の保護者	16.7%	50.0%	33.3%	0%	0%
合計	40.7%	42.9%	10.4%	3.9%	2.1%



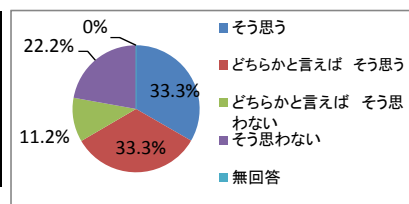
北小	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
児童の保護者	18.8%	40.6%	15.6%	25.0%	0%
就学前児童の保護者	14.3%	42.8%	28.6%	14.3%	0%
未記入の保護者	—	—	—	—	—
合計	17.9%	41.1%	17.9%	23.1%	0%



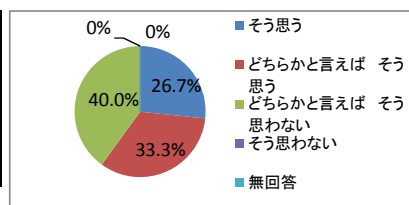
南小	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
児童の保護者	33.3%	45.5%	9.1%	12.1%	0%
就学前児童の保護者	55.6%	22.2%	11.1%	11.1%	0%
未記入の保護者	—	—	—	—	—
合計	38.1%	40.5%	9.5%	11.9%	0%



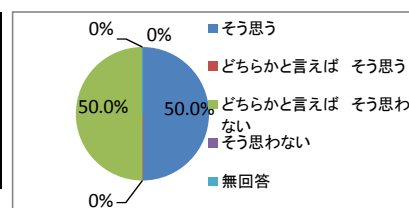
西小	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
児童の保護者	10.0%	30.0%	20.0%	40.0%	0%
就学前児童の保護者	62.5%	37.5%	0%	0%	0%
未記入の保護者	—	—	—	—	—
合計	33.3%	33.3%	11.2%	22.2%	0%



舞小	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
児童の保護者	20.0%	40.0%	40.0%	0%	0%
就学前児童の保護者	40.0%	20.0%	40.0%	0%	0%
未記入の保護者	—	—	—	—	—
合計	26.7%	33.3%	40.0%	0%	0%



未記入	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
児童の保護者	—	—	—	—	—
就学前児童の保護者	50.0%	0%	50.0%	0%	0%
未記入の保護者	—	—	—	—	—
合計	50.0%	0%	50.0%	0%	0%

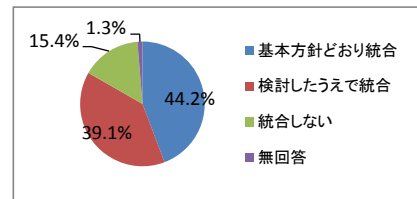


④ 基本方針どおり28年度に小学校を1校に統合することについて（単数回答）

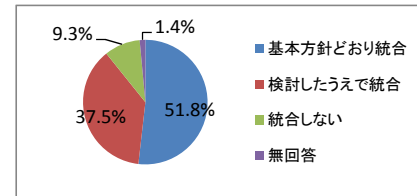
N=396

～ 全体では「基本方針どおり統合」と答えた保護者が44.2%と最も多く、続いて「検討したうえで統合」（39.1%）、「統合しない」（15.4%）、無回答（1.3%）という結果となりました。北小においては43.6%の保護者が「統合しない」、また、「検討した上で統合」については、南小（50.0%）、西小（55.5%）という結果となりました。

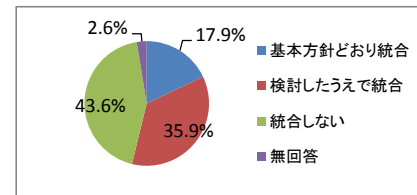
全体	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	無回答
児童の保護者	40.6%	40.9%	17.0%	1.5%
就学前児童の保護者	52.1%	34.5%	12.6%	0.8%
未記入の保護者	50.0%	50.0%	0%	0%
合計	44.2%	39.1%	15.4%	1.3%



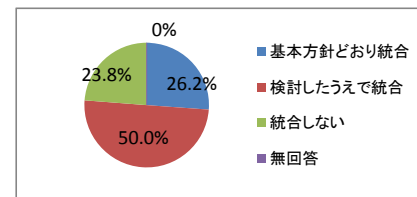
中小	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	無回答
児童の保護者	51.1%	37.6%	9.7%	1.6%
就学前児童の保護者	53.4%	36.4%	9.1%	1.1%
未記入の保護者	50.0%	50.0%	0%	0%
合計	51.8%	37.5%	9.3%	1.4%



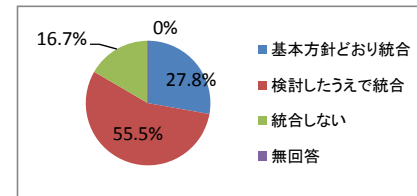
北小	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	無回答
児童の保護者	15.6%	40.6%	40.6%	3.2%
就学前児童の保護者	28.6%	14.3%	57.1%	0%
未記入の保護者	—	—	—	—
合計	17.9%	35.9%	43.6%	2.6%



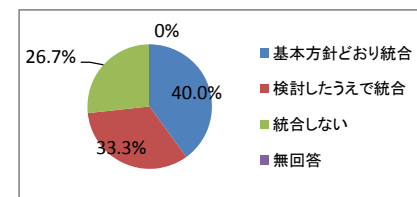
南小	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	無回答
児童の保護者	21.2%	51.5%	27.3%	0%
就学前児童の保護者	44.4%	44.4%	11.2%	0%
未記入の保護者	—	—	—	—
合計	26.2%	50.0%	23.8%	0%



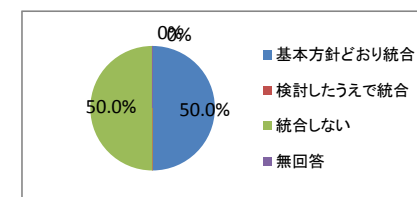
西小	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	無回答
児童の保護者	0%	70.0%	30.0%	0%
就学前児童の保護者	62.5%	37.5%	0%	0%
未記入の保護者	—	—	—	—
合計	27.8%	55.5%	16.7%	0%



舞小	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	無回答
児童の保護者	30.0%	40.0%	30.0%	0%
就学前児童の保護者	60.0%	20.0%	20.0%	0%
未記入の保護者	—	—	—	—
合計	40.0%	33.3%	26.7%	0%



未記入	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	無回答
児童の保護者	—	—	—	—
就学前児童の保護者	50.0%	0%	50.0%	0%
未記入の保護者	—	—	—	—
合計	50.0%	0%	50.0%	0%





⑤ 「検討が必要だが、統合した方が良い」、「統合しない方が良い」と回答された方の内、基本方針どおりとしないことについての理由について（複数回答） N=218

～全体では「指導環境」と答えた保護者は60.1%と最も多く、続いて「通学距離」（51.8%）、「学習環境」（23.4%）、「学童保育」（22.5%）、「その他」（21.6%）、「現況で満足」（16.1%）、「人数の多い環境は中学、高校で」15.6%、「無回答」（1.8%）という結果となりました。

選択肢

ア～統合し環境が変わる子供が学習についていけないか不安があるため

イ～1クラスの子どもの数が増えると先生の指導が十分行き届かない恐れがあるため

ウ～通学距離や時間が長いスクールバスを運行しても不安があるため

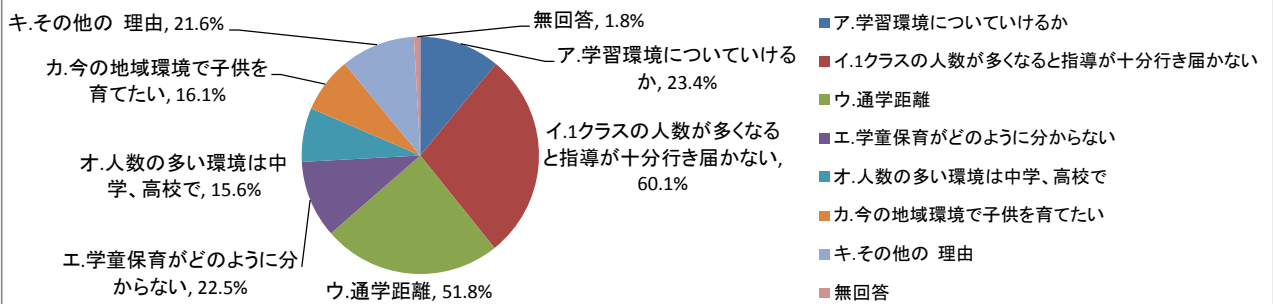
エ～学童保育がどのようになるか分からないため

オ～人数の多い環境での学習が中学校や高校で学べばいいと考えるため

カ～今の地域環境で子供を育てたいと考えるため

キ～その他

	ア.学習環境についていけないか	イ.1クラスの人数が多くなると指導が十分行き届かない	ウ.通学距離	エ.学童保育がどのように分からない	オ.人数の多い環境は中学、高校で	カ.今の地域環境で子供を育てたい	キ.その他の理由	無回答
中小	23 17.4%	77 58.3%	44 33.3%	25 18.9%	17 12.9%	7 5.3%	27 20.5%	2 1.5%
北小	11 34.4%	20 62.5%	25 78.1%	4 12.5%	4 12.5%	15 46.9%	8 25.0%	0 0%
南小	11 35.5%	21 67.7%	26 83.9%	8 25.8%	8 25.8%	6 19.4%	5 16.1%	0 0%
西小	3 23.1%	7 53.8%	8 61.5%	6 46.2%	4 30.8%	2 15.4%	4 30.8%	2 15.4%
舞小	2 22.2%	5 55.6%	9 100.0%	5 55.6%	1 11.1%	5 55.6%	3 33.3%	0 0%
未記入	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
合計	51 23.4%	131 60.1%	113 51.8%	49 22.5%	34 15.6%	35 16.1%	47 21.6%	4 1.8%



（上記の基本方針どおりとしないことについて、その他の理由）

長沼中央小学校以外の保護者の考え、声を重視してほしい。人数の多い学校に行かせてあげたい気持ちと、通学距離があるのはやっぱり不安があるのではと思います。

アンケートにその他要望を書く欄が必要だと思います。教職員の数は生徒数で決まっていますが、ぜひ長沼独自に増やして英語の専門指導員やT.Tなどをつけてほしいです。

1クラスの人数は25人の3～4クラスが望ましい。

「長沼小」という名称に反対。歴史ある「中央小」という名称を残さない理由が「平等に」ではよくわからない。中央小以外の学校の人々から「中央小」だけ残ることに不満があるか調査したほうが良いと思う。

中央小以外のお子様や両親の負担等、十分配慮するにはもう少し検討してもよいのではと思う。

支援学級について不明なため

まだ統合についての理解にとぼしい為（中身、内容がよくわかっていないので）何とも言えません。統合すると決まっていると思ってました。

イに付け加え、統合1年目は学校における教員の数を増やすか、1学級における児童の定員を減らし、慣れさせてほしいため

どちらでもよいと思う

中央小の子はいいが舞鶴小などの遠距離の子は通学距離が長くなり大変ではないかと考える。保育園は南と中央の2か所なのだから小学校も2か所にしてみてもいいのではないかと思います。

中央小学校に通わせている世帯の意見で（多数決のように）決めてしまうより統合される世帯の理解を充分得てほしいと考えるため

各校の特色ある・・・など大ざっぱすぎて具体的にわかりづらい、判断できません。

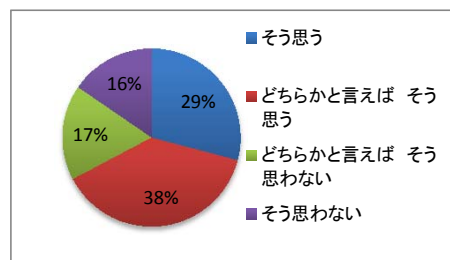
まず段階的に舞小を南小へなど

親の納得、理解、興味がない、会議に参加しないわりに反対する方（ぜんぜんわかんないと言う人）が多いと思います。どうすれば、自分の子供たちのために会議に参加して話し合うことができるのでしょうか。

新設校を作るのではなく、中小に他の学校が合併する形をとることができないものか？経費の面などから...

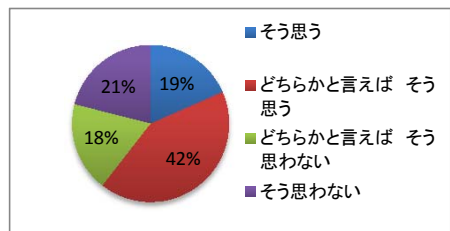
<p>中学校を参考にしたほうが良い。H26～H27の1年間でも見てみて、良いところ、悪いところ（改善）がでてくる。統合することには賛成であるが、すべてを廃校にする必要はない。（経費が掛かるため）</p>
<p>新設には反対ですが、中小に統合し名称もそのまま使用し、統合され無くなる小学校の歴史を中小の中に展示する方がよいと思う。距離が遠くなるのは仕方ないこと。お金をかけずに統合し校舎を整備するのに使ってください。中学校もそれでよかった気がする。</p>
<p>特に意見はない。どうでもよい。</p>
<p>学童保育はきちんと利用できるようなしなれば安全面に不安が大きくなる。歩いて帰れる距離ではないので。</p>
<p>人数が増えるという事はいじめが発生する確率も増えることも考えられる。先生方も十分に生徒たちを見守り、楽しい学校生活を送ることができるようにして頂ければと思います。</p>
<p>複式学級の子たちが不安なく通えるような配慮がほしいです。きめこまやかな学習指導がなされるようお願いいたします。各学校の良いところが消えないことを願います。1クラスの人数はできれば少ない方がよいです。</p>
<p>複数学級にする事ばかり考えていて子ども達の事を何も考えていない様な気がする。</p>
<p>子どもが増えて起こる問題についての対応策例えば1クラス25人～30人にするなどの話はまったくなく、1つの学校に集約することだけが目的のように感じる。統合後に1学級の定員を25人～30人にして欲しいと言っても財政難を理由に実現されないのは明らか。住民の要望も取り入れた新しい学校作りを考えてほしい。小規模校にはそれなりに良いところもあるのだから。</p>
<p>各父母、地域が理解し準備が整ってからでも十分では？</p>
<p>少人数だからと言って学習指導面が充実しているとはかぎらない。統合される学校から先生を誰か中央へ行くという話があるが、本当は選ばせてほしいくらいです。スクールバスはデマンドでもよいので移動時間が一番短いものにしてほしい。</p>
<p>冬の天候は中央と北では違い、私の家ではすぐ道がなくなり、迎えに行くのも帰ってくるのも大変である。そういう点についてもどう考えているのか？スクールバスがどこに停車するかわからないが、除雪もなかなかはいってこない所で冬が心配です。もっとこまかいいろいろな事を考えてほしいです。口では良いことを言っている、きちんとしてもらえない事が多いので納得のいくことをこまかく考えてください。</p>
<p>反対している地区があると聞いたが、無理矢理統合しても後々、他の事で問題が出る。子供たちに大人のトラブルの影響が出るなどあるかもしれない。</p>
<p>同世代との付き合いより、異世代との付き合いの方が社会性が身に付くと考えています。</p>
<p>せめて2校以上にした方が町外の環境との片寄りを少なくできたり、わざわざ子供を減らす未来へ向かっているようで、過疎化を推進しているようで、そのようになっていきそうですよね。</p>
<p>1校にせず2校にするなどの意見を前にも言ったがなぜ消えたのか、おかしいと思います。もう一度考えてください。</p>
<p>このままでも良い。通うのが大変なところもあるので。舞鶴、西は不用。少なすぎる。南北中央で良い。問3について、中央小は閉校しなくてよい。そのままです。</p>
<p>統合の必要性を感じない。地域の特色を大切にしたい。</p>
<p>地域で十分議論する過程を経ないまま作られた方針であるため。</p>
<p>地域行事で使える施設がなくなるため。子供が遊んでいても、顔も何もわからなくなる。</p>
<p>昨年西小から中中に進学した息子の様子から、少人数教育から受ける恩恵の方が大きく、「適正な学校規模について」に示された理由に妥当性を全く感じないため。</p>
<p>私は生まれも育ちも長沼です。現在は農業を継いでいます。私は農業をしていると地域に住んでいるおじさん、おばさん、お兄さん、お姉さん、後輩とのつながりがとても大切だということを知っています。自然と顔を見れば～さんとわかるのも北長沼に小学、中学があり、地域の方と会う機会があったおかげだと思っています。今になり、この環境に感謝しています。私の子供達も地域の中で学校も歩ける距離で通わせたいと考えています。大人になり、長沼に戻ってきても地域とのつながりがあると帰りやすいと思います。今は、保育園も北長沼はなくなってしまいましたが、小学校へ入学すればそこでも新たに友達ができ、たのしくすごしていると話して下さるママ友もいます。保育園はなくなって子供たちは、しっかり勉強し、子どもらしくいれるという話を聞き、統合してほしいと感じています。</p>
<p>統合することは賛成するが低学年のことを思うと北・南をもう少し見合わせてほしい。</p>
<p>中学校の1年生を3～4学級にすべきだったが統合後2学級だった。これでは何のための統合なのかと疑問が残った。これならば統合してもしなくても同じだったのでは？</p>
<p>短期間での進め方がおかしいから？（短期間で進めようとするから）</p>
<p>縦のつながりが子どもたちに与えるものはとても良い関係と思っています。上の学年は優しく接してくれます。統合されるとそのような関係には絶対にならないと思います。スクールバスの運営費はかなりの金額になると聞いています。赤字になるのにどうして踏み切るのか不思議でたまりません。また45分、55分バスに乗るときっと朝食抜きの子どもが増えます。悪影響しか生まない統合には絶対に反対です。</p>
<p>今よりもっと児童数が減少してからでも統合は遅くないと思います。</p>
<p>地域の違いで親も変わるので（とくに少人数学校の地域）</p>
<p>集団としての教育はそんなに必要ですか？必要に応じて集まる町の行事のような型で行うなど出来ないでしょうか？小さなコミュニティで老人や地域の人と交流が減るのは伝承や伝統を語り継ぐなど出来なくなっていくのでは？まったく反対ではないが、もっとこまやかに説明や対応が出来ないようでは賛成はすんなりもらえないと思います。</p>
<p>吹雪や地震のような大きな災害時保護者が中小まですぐに行けない場合の対応等が気になります。</p>
<p>中央以外の方の意見を尊重</p>
<p>人数が多くなるほどいじめの確率が高くなる。</p>

4校区合計	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	有効回答
児童の保護者	19人	34人	14人	15人	82人
就学前児童の保護者	13人	8人	5人	2人	28人
合計	32人	42人	19人	17人	110人



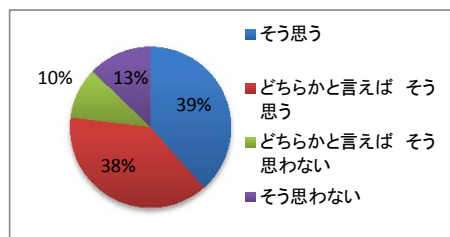
(単数回答) N=38

北小	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	有効回答
児童の保護者	6人	13人	5人	7人	31人
就学前児童の保護者	1人	3人	2人	1人	7人
合計	7人	16人	7人	8人	38人



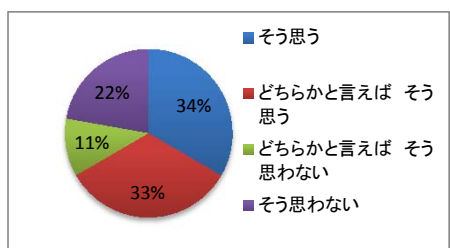
(単数回答) N=39

南小	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	有効回答
児童の保護者	10人	14人	3人	4人	31人
就学前児童の保護者	5人	1人	1人	1人	8人
合計	15人	15人	4人	5人	39人



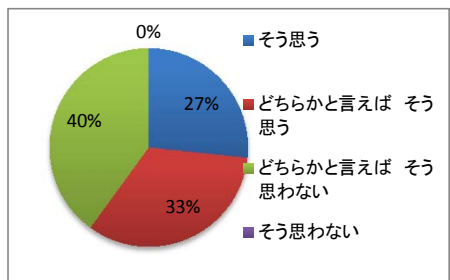
(単数回答) N=18

西小	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	有効回答
児童の保護者	1人	3人	2人	4人	10人
就学前児童の保護者	5人	3人	0人	0人	8人
合計	6人	6人	2人	4人	18人



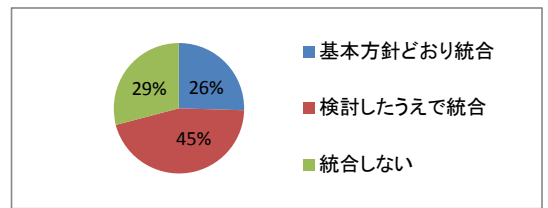
(単数回答) N=15

舞小	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	有効回答
児童の保護者	2人	4人	4人	0人	10人
就学前児童の保護者	2人	1人	2人	0人	5人
合計	4人	5人	6人	0人	15人



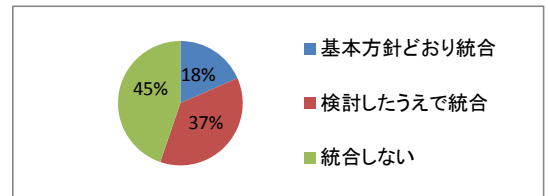
参考～28年度1校に統合することについて (中小を除いた4校区) (単数回答) N=110

4校区合計	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	有効回答
児童の保護者	15人	41人	26人	82人
就学前児童の保護者	13人	9人	6人	28人
合計	28人	50人	32人	110人



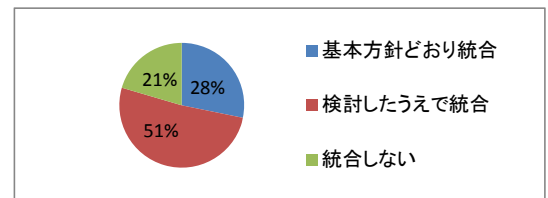
(単数回答) N=38

北小	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	有効回答
児童の保護者	5人	13人	13人	31人
就学前児童の保護者	2人	1人	4人	7人
合計	7人	14人	17人	38人



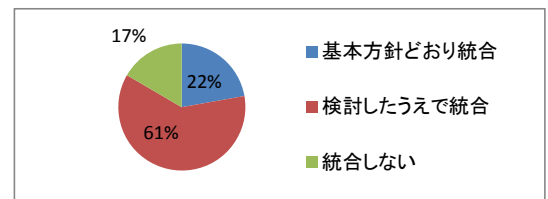
(単数回答) N=39

南小	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	有効回答
児童の保護者	7人	17人	7人	31人
就学前児童の保護者	4人	3人	1人	8人
合計	11人	20人	8人	39人



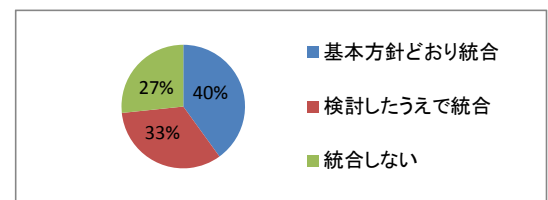
(単数回答) N=18

西小	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	有効回答
児童の保護者	0人	7人	3人	10人
就学前児童の保護者	4人	4人	0人	8人
合計	4人	11人	3人	18人



(単数回答) N=15

舞小	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	有効回答
児童の保護者	3人	4人	3人	10人
就学前児童の保護者	3人	1人	1人	5人
合計	6人	5人	4人	15人



参考～複式学級の早期解消と統合についての相関関係 (中央地区を抜いた4地区)

統合	北小				南小				西小				舞小				4校区合計			
	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	合計	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	合計	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	合計	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	合計	基本方針どおり統合	検討したうえで統合	統合しない	合計
早期複式解消																				
そう思う	5	2	0	7	9	6	0	15	4	2	0	6	4	0	0	4	22	10	0	32
どちらかといえばそう思う	1	10	5	16	2	11	2	15	0	6	0	6	2	3	0	5	5	30	7	42
どちらかといえばそう思わない	1	2	4	7	0	3	1	4	0	1	1	2	0	2	4	6	1	8	10	19
そう思わない	0	0	8	8	0	0	5	5	0	2	2	4	0	0	0	0	0	2	15	17
計	7	14	17	38	11	20	8	39	4	11	3	18	6	5	4	15	28	50	32	110

参考～ 「検討が必要だが統合した方がよい」、「統合しない方がよい」と回答された方のうち、基本方針どおりとしないことについての理由について（項目別の理由の人数分布）

・検討が必要だが統合した方がよいと答えた方（複数回答） N=155

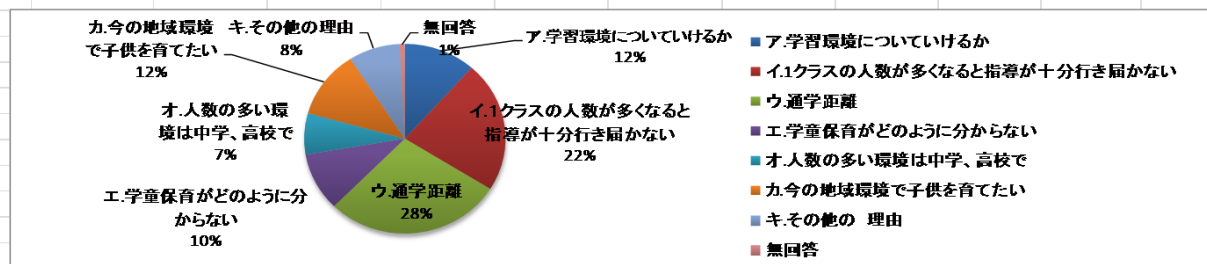
	ア.学習環境についていけるか不安	イ.1クラスの人数が多くなると指導が十分行き届かない	ウ.通学距離	エ.学童保育がどのように分らない	オ.人数の多い環境は中学、高校で	カ.今の地域環境で子供を育てたい	キ.その他の理由	無回答	合計
中小	20 19.0%	63 60.0%	31 29.5%	22 21.0%	11 10.5%	3 2.9%	21 20.0%	2 1.9%	173
北小	8 57.1%	11 78.6%	11 78.6%	1 7.1%	0 0%	3 21.4%	0 0%	0 0%	34
南小	9 42.9%	15 71.4%	19 90.5%	5 23.8%	2 9.5%	3 14.3%	2 9.5%	0 0%	55
西小	2 20.0%	5 50.1%	6 60.0%	4 40.0%	2 20.0%	1 10.0%	2 20.0%	2 20.0%	24
舞小	1 20.0%	2 40.0%	5 100.0%	2 40.0%	0 0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0%	12
未記入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	40 25.8%	96 61.9%	72 46.5%	34 21.9%	15 9.7%	11 7.1%	26 16.8%	4 2.6%	298 192.3%

・統合しないほうがよいと答えた方（複数回答） N=61

	ア.学習環境についていけるか不安	イ.1クラスの人数が多くなると指導が十分行き届かない	ウ.通学距離	エ.学童保育がどのように分らない	オ.人数の多い環境は中学、高校で	カ.今の地域環境で子供を育てたい	キ.その他の理由	無回答	合計
中小	3 11.5%	14 53.8%	13 50.0%	3 11.5%	5 19.2%	3 11.5%	5 19.2%	0 0%	46
北小	2 11.8%	8 47.1%	14 82.4%	3 17.6%	4 23.5%	12 70.6%	7 41.2%	0 0%	50
南小	2 20.0%	6 60.0%	7 70.0%	3 30.0%	6 60.0%	3 30.0%	3 30.0%	0 0%	30
西小	1 33.3%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	2 66.7%	0 0%	12
舞小	1 25.0%	3 75.0%	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	4 100.0%	2 50.0%	0 0%	18
未記入	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	4
合計	10 16.4%	34 55.7%	41 67.2%	15 24.6%	18 29.5%	23 37.7%	19 31.1%	0 0%	160 262.2%

参考～ 4校区の不安理由集計（複数回答） N=86

	ア.学習環境についていけるか不安	イ.1クラスの人数が多くなると指導が十分行き届かない	ウ.通学距離	エ.学童保育がどのように分らない	オ.人数の多い環境は中学、高校で	カ.今の地域環境で子供を育てたい	キ.その他の理由	無回答	合計
北小	11 34.4%	20 62.5%	25 78.1%	4 12.5%	4 12.5%	15 46.9%	8 25.0%	0 0%	87
南小	11 35.5%	21 67.7%	26 83.9%	8 25.8%	8 25.8%	6 19.4%	5 16.1%	0 0%	85
西小	3 23.1%	7 53.8%	8 61.5%	6 46.2%	4 30.8%	2 15.4%	4 30.8%	2 15.4%	36
舞小	2 22.2%	5 55.6%	9 100.0%	5 55.6%	1 11.1%	5 55.6%	3 33.3%	0 0%	30
未記入	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	4
合計	28 32.6%	54 62.8%	69 80.2%	24 27.9%	17 19.8%	28 32.6%	20 23.2%	2 2.3%	242 281.4%



## 長沼町立小・中学校適正規模・適正配置基本方針の点検・評価

### 1 中学校における学校統合について

中央長沼中学校を活用した3中学校の統合を進めることとし、平成26年4月を目標とし、地域住民のご理解のもと、中学校1校の新設校とすべき。

#### ○点検・評価

地域、保護者への説明会を開催するとともに中学校統合準備委員会を設置し、統合に向けた協議、検討を重ね本年4月に3中学校を統合し、新設「長沼中学校」としてスタートした。

今後、統合後における学校教育活動、学校経営等の観点から点検・評価を継続的に行うとともに、生徒・保護者の声を聞き、より良い教育環境整備に努めなければならない。

新1年生が中学校生活にスムーズに移行できるよう、小学校5校での交流事業を今後も積極的に取り組む必要がある。

### 2 小学校における学校統合について

長沼中央小学校を活用した5小学校の統合を進めることとし、平成28年4月を目標とし、地域住民のご理解のもと、小学校1校の新設校とすべき。

#### ○点検・評価

小学校の統合については、中学校統合までの過程と統合後について、点検・評価を今後行うとともに地域説明会、中学校統合保護者説明会、小学校統合保護者説明会、PTAとの話し合い、保護者アンケートなどの保護者、地域の声を尊重し、長沼町の学校教育の諸課題と解決策について慎重に検討する必要がある。

また、統合までの間、小学校交流事業及び小規模校の教育活動を補完する取組みをさらに進める必要がある。

### 3 小・中学校の通学区域について

「子どもたちへの最良な教育環境の提供」をするためには、通学路に十分な配慮が必要であり、その主な視点として、

通学の安全性

通学距離及び通学時間

がある。

児童生徒の通学時間を小学校で約45分以内、中学校で約55分以内を基本とし、現在実施しているスクールバスの運行及び遠距離通学費の補助を行う必要がある。通学時間・通学距離は学習への集中度を高める上でも、児童生徒の安全確保の上でも極めて重要であり、特に中学校は、放課後の生徒会活動などの特別活動や部活動を有しており、下校時間に配慮したスクールバスの運行時間が必要である。

#### ○点検・評価

長沼中学校のスクールバス運行時間（通学時間）については、北長沼線で約45分、南長沼舞鶴線で約42分、幌内東長沼線で約43分ということで、目途としていた、おおむね55分以内をクリアした。また、放課後の特別活動や部活動に対し、スクールバスで対応しているが、さらに学校側との連携を密にし、一定のルールを定め、より効率的なスクールバスの運行を検討する必要がある。

通学の安全性については、停留所のスペース確保や乗車位置の徹底に努めるとともに、冬期間の運行は、現段階では未知であり、あらゆる事態を想定し、通学の安全性の確保につい

て配慮しなければならず、特に天候モニター制をすみやかに構築する必要がある。

小学校のスクールバスをについては、通学時間を短縮するためにJRバス等と協議・検討していく必要がある。

#### 4 学校統合に関わる諸課題

「長沼町学校規模適正化検討委員会答申」において、学校統合を実施するにあたっては様々な問題が派生してくることから、次の事項についてきめ細かく対応することにする。

(1) 保護者や地域への理解を促進するとともに、当該校の児童、教員や保護者の事前交流などの準備作業を進めること。

(2) 児童生徒が互いに良好な人間関係を築けるよう十分な注意を払う。また、学校統合により、子どもや町民のスポーツ活動などの施設の確保に支障が生じないようにすること。

##### ○点検・評価

中学校統合関係においては、この基本方針策定後、「統合に係る地域説明会」「統合に係る保護者説明会」を開催し、統合における理解と協力をお願いするとともに、「中学校統合準備委員会」を設置し、統合における諸課題の検討、協議を行った。

また、最重要課題でもあった通学の関係については、「スクールバス運行に係る意見交換会」を開催しスクールバス運行の参考とし、現在のところ安全に運行されている。

統合後、生徒がスムーズに学校生活が送れるよう「中学校交流事業」としてレクリエーションや仮学級による授業を実施したが、統合後、南・北・中央の生徒同士の友達関係の壁が多少あるので、生徒間の交流についてはより積極的に実施した方が良いと考えられる。生徒指導に関わっては、生徒の実態把握を念入りに行い、もう少し細かく引継ぎを行う必要があった。

小学校においては中学校への円滑な接続や統合に配慮し、良好な人間関係の構築を促す「小学校交流事業」を積極的に数多く実施する必要がある。

#### 5 統合にあたっての基本的配慮

児童生徒の不安や動揺を最小限にするために、教員配置等様々な面で最善の配慮をします。

##### ○点検・評価

旧北・南中学校については、同一校教職員の3人以上を長沼中学校に配置するとともに、長沼中学校では家庭訪問の実施など、生徒、保護者への相談体制を整えている。また、教育委員会事務局内にも相談窓口を設置し、学校との情報共有と早期対応を行っている。

各校で進められている特色ある教育を引き継げるよう配慮します。

##### ○点検・評価

各学校の特色や独自の取り組みについては、旧南長沼中学校の礼文香深中学校の交流事業をはじめ、陶芸教室や職業人講話は長沼中学校に引き継がれたが、菊作り講習会は現在協議中である。今後においては、それら特色ある教育を継承するとともに、新たに中学校の取り組みを創っていくことが必要である。

円滑な移行が可能となるよう、児童生徒の交流事業等を支援します。



#### ○点検・評価

生徒たちの不安を少しでも解消するために、部活動などの交流も含め、レクリエーションや仮学級などの交流事業を実施したが、生徒同士の友達関係に多少の壁があり、お互いに遠慮する様子が見受けられ、先生に対する接し方も、出身校の先生に寄り添う傾向が強いのので、より多くの交流事業を計画的に行う必要があった。

児童生徒の通学の安全確保のため、バス通学の再編・有効活用を図るとともに、関係機関との連携を深めます。

#### ○点検・評価

昨年度、スクールバスを購入し、中学校通学おおむね 55 分以内を目標とし、学校や保護者等の意見を聞きながら、中学生だけを対象としたスクールバス路線を編成した。今後もスクールバスの効率的で効果的な運用をスクールバス運営協議会とともに検討し、生徒の通学の安全確保に努めなければならない。

教育課程編成や学校運営・教育方法などは、関係する学校間の協議結果を尊重します。

#### ○点検・評価

教育課程編成や学校運営・教育方法等については、新たな中学校として、より質の高い教育を生徒に提供できるよう、三中学校及び教育委員会で、慎重な検討を行い、平成 26 年度長沼中学校経営計画に反映し、4 月より実践しているが、今後も保護者、地域、教育関係者が一体となり P D C A を重ね、より良い中学校の教育環境を整備していかなければならない。

校名、校歌、校旗、校章、制服などについては、関係校の保護者・教職員など、学校関係者の協議結果を尊重します。

#### ○点検・評価

保護者、教職員などの意見を部会で協議し、中学校統合準備委員会が総合的に判断決定したものを教育委員会が承認した。なお、校歌については、複数の候補の中から三中学校教職員が選定し、準備委員会に提案し決定した。